

『ダイコンサルハムシ・カブラハバチの防除』

10月上旬頃からダイコンサルハムシとカブラハバチの防除の問い合わせが増えていきます。両者の共通点は、体色が黒く、アブラナ科(キャベツ、ハクサイ、ダイコン、コマツナ等)のみ食害することです。放置しておくと葉がどんどん食べられてしまいます。発生を確認したら早めに防除を行ってください。

ダイコンサルハムシ(ダイコンハムシ)

局地的に発生し、成虫は飛ぶことはなく歩いて移動します。成虫・幼虫ともに葉を食害します。特徴として多発すると葉が葉脈だけを残し網目状になります。



成虫(体長約 4 mm)



幼虫(体長約 6 mm)

主な適用農薬

・モスピラン顆粒水溶剤・コテツフロアブル・アディオソル乳剤・ダントツ水溶剤 等

カブラハバチ

ハチの仲間成虫が葉に産卵し、孵化した幼虫が食害し葉に不規則な穴をあけます。防虫ネットを使用して成虫の飛来を防いだり、周辺のアブラナ科雑草を片付けることで被害を軽減できます。



成虫(体長約 10 mm)



幼虫(体長約 10~20 mm)

主な適用農薬

・モスピラン顆粒水溶剤・コテツフロアブル・マラソン乳剤・オルトラン水和剤・プレオフロアブル 等

散布薬剤選択上の注意点《必読》

- ① 記載している農薬は令和2年10月26日時点の登録です。
- ② 対象作物が多品目のため、適用害虫登録がある農薬を記載しています。薬剤選択につきましては、ラベル等で作物登録を必ず確認のうえ、希釈倍数、使用時期、使用回数、等登録内容を守って使用してください。